咨	继	3
尺	77	J

									担当	台部課			
No. 指標名	沖縄県の現状 (参考値)	離島の現状 (基準値)	実績値	計画値	改善幅 達成率 (実績値-基準値) (%)	達成 状況	達成 区分	令和6年度 目標値	部局名	課名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考

【各数値の説明】

・参考値とは、新・沖縄県21世紀ビジョン実施計画策定時に基準値として設定した値です。

・基準値とは、次代を拓く持続可能な島づくり計画策定時に基準値として設定した値です。

・実績値とは、令和4年度離島PDCA取りまとめの段階で担当部課が把握している最新の数値です。(ただし、令和4年度沖縄県PDCA数値の年度に基づく)

・計画値とは、令和4年度の目標値到達を目指し、令和4年度で到達が求められる数値です。

・達成率とは、計画値に対する実績値の達成割合です。

・達成率={(実績値ー基準値)÷(目標値ー基準値)}で算出しております。

・達成区分とは、達成率状況を記号で表したものです。 ◎=計画値達成率100%以上 ○=計画値達成率60%以上100%未満 ●計画値達成率60%未満 △=基準値と同一 ×=基準値より数値が悪化

1. 持続可能な離島コミュニティの形成

【基本施策】1一(1)	自然環境·	や景観・風景	の保全と	継承														
1 世界自然遺産登録の更新		及び西表島の 議遺産登録 3年7月)	西表島の世身 율 (令和3	1	西表島の世界 録(令和:	界自然遺産登 3年7月)					前進(達成)	©	令和9年度の 新に向け、遺 全と利用の両 重な自然環境 継承する取	産地域の保 立を図り、貴 を次世代へ	環境部	自然保護課	1.地域社会との協働による遺産の管理 体制の構築及び運営の支援 2.国、教育機関、研究機関等と連携した モニタリング調査の実施 3.県民や観光客への生物多様性の保 全やマナー・ルールの啓発 4.50.児童生徒への啓発	
2 自然保護区域面積(海域)	0.2	万k㎡ (R2年度)	0.19	万k㎡ (R2年度)	0.2	万k㎡ (R4年度)							0.21	万k㎡	環境部	自然保護課	9.鳥獣保護区(海域を含むもの)の指定	
3 準絶滅危惧種から絶滅危惧種への移 行種割合	24.7	% (H29年度)	-	-	24.7	% (R4年度)							24.7	%	環境部	日然体设体	10.指定希少野生動植物種のモニタリン グ 11.レッドデータおきなわの改訂 13.重点対策種の防除実施 14.重点予防種のモニタリング実施 16.外来種対策に係る普及啓発活動の 実施 49.県民参加型外来種防除の実施	
4 重点対策種等の排除・根絶地域数	0	地域 (R3年度)	0	地域 (R3年度)	0	地域 (R4年度)	0.0	地域 (R4年度)	0.0		前進(達成)	©	0	地域	環境部	日然休護床	10.指定希少野生動植物種のモニタリン グ 11.レッドデータおきなわの改訂 13.重点対策種の防除実施 14.重点予防種のモニタリング実施 16.外来種対策に係る普及啓発活動の 実施 49.県民参加型外来種防除の実施	
5 景観計画の策定・改定数	41	回 (R3年度)	19	回 (R3年度)	19	回 (R4年度)	20.7	回 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	24	回	土木建築部	都市計画・モノレール課	27.380沖縄らしい風景づくり支援事業 (景観行政の推進)	
6 景観アセスメント数(累計)	68	件 (R3年度)	-	-	8	件 (R4年度)							98	件	土木建築部	都市計画・モノレール課	28.沖縄らしい風景づくり支援事業(公共事業における景観アセスメントの推進)	
7 無電柱化整備総延長	164.5	km (R2年度)	32.7	km (R3年度)	33.4	km (R4年度)	33.1	km (R4年度)	0.7	達成	前進(達成)	©	33.9	km	土木建築部	道路管理課	21.無電柱化推進事業	
8 緑化活動団体数	646	団体 (R2年度)	-	I	650	団体 (R4年度)							670	団体	環境部	環境再生課	23.全島緑化活動の推進 25.ふるさと農村活性化基金事業	

No. 指標名		の現状	離島(の現状	実統		<u>=</u> +i	 重値	改善幅	達成率	達成	達成		16年度	担当	台部課	関連する主な取組	達成状況が後退した要因と対策	備考
110. 1日1赤 1日	(参:	考値)	(基)	集値)	~ (· 中	п	의 IIE	(実績値-基準値)	(%)	状況	区分	目	標値	部局名	課名	(様式1の施策総括表に対応)	(【要因】と【対策】に分けて記載)	V用 か
9 土壌汚染対策法に基づく汚染土壌の適 正処理率	100	% (R2年度)	100	%	100	% (R4年度)	100.0	% (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	©	100	%	環境部	環境保全課	29.土壌汚染に関する情報や届出当の 収集・蓄積		
大気環境基準の達成率(光化学オキシ ダントを除く)	100	% (R2年度)	100	% (宮古圏域・ 八重山圏域)	100	% (宮古圏域・ 八重山圏域) (R4年度)	100.0	% (宮古圏域・ 八重山圏域) (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	©	100	% (宮古圏域・ 八重山圏域)	環境部	│ □環境保全課	30.大気環境の常時監視 31.事業者の監視・指導 32.自動車騒音の常時監視 33.悪臭防止法に基づく規制地域の指 定		
11 自然環境に配慮した河川整備率	11	% (R2年度)	-	-	12	% (R4年度)							14	%	土木建築部	河川課	19.35.自然環境に配慮した河川の整備		
12 海域での赤土堆積ランク5以下の海域 割合	46.4	% (R3年度)	-	-	42.9	% (R4年度)							63	%	環境部	環境保全課	37.赤土等流出防止対策推進事 38.赤土等流出防止活動促進事業 41.赤土等流出防止施設機能強化事業 42.赤土等流出防止対策検証事業		
13 監視海域における赤土等年間流出量	141,172	トン (R3年度)	-	-	-	トン (R4年度)							126,500	トン	環境部	環境保全課	37.赤土等流出防止対策推進事 38.赤土等流出防止活動促進事業 41.赤土等流出防止施設機能強化事業 42.赤土等流出防止対策検証事業		
14 環境啓発活動参加延べ人数	59,691	人 (R元年度)	-	-	13,691	人 (R4年度)							31,600	,	環境部	環境政策課	4.50.378児童生徒への啓発 47.133.374.環境保全啓発事業(出前講 座等による環境保全活動の促進) 48.375.5ゆら島環境美化促進事業(普 及啓発) 49.県民参加型外来種防除の実施		
環境活動を実践するNPO・ボランティア 団体数	41	団体 (R3年度)	-	-	41	団体 (R4年度)							43	団体	環境部	環境再生課			
【基本施策】1一(2)	安心・安全	と地域の将	来を支える	5生活環境(の整備						-	-							
16 基幹管路の耐震適合率	30.0	% (R2年度)	-	-	30.4	% (R4年度)							34.2	%	保健医療部	衛生薬務課	51.水道施設整備事業		
17 特定事業場排水基準の達成率(検査 時)	94	% (R元年度)	-	-	95.3	% (R4年度)							95	%	環境部	環境保全課	53.水質汚濁防止法に基づく事業場等 の監視・指導		
18 水道広域化実施市町村数(累計)	-	-	4	村 (R2年度)	6	村 (R4年度)	5.7	村 (R4年度)	2.0	達成	前進(達成)	©	9	村	保健医療部	衛生薬務課	55.水道広域化施設の整備 56.水道基盤強化推進事業		
19 汚水処理人口普及率(離島)	86.7	% (R2年度)	57.8	% (R2年度)	59.2	% (R4年度)	66.4	% (R4年度)	1.4	16.3%	前進	•	75	%	土木建築部	下水道課	57.下水道事業(離島) 60.浄化槽管理対策事業 61.110.下水道事業(浸水対策(離島))		

																担当	部課	
No.	指標名	沖縄県(参	もの現状 考値)	離島(の現状準値)	実統	責値	計區	 直值	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成区分	令和6 目標		部局名	関連する主な取組 達成状況が後退した要因と対策 (様式1の施策総括表に対応) は関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応) は関係を表して記載) は、 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
	離島における広域的処理を行う市町村数及	及びあわせタ	処理を行う市町	村数								•				環境部	環境整備課	
20	離島における広域的処理を行う市町村数	26	市町村 (R2年度)	2	市町村 (R2年度)	2	市町村 (R4年度)	2.0	市町村 (R4年度)	0.0		前進(達成)	0	2	町村	環境部	環境整備課 62.ごみ処理の広域化とあわせ処理の 促進	
	離島におけるあわせ処理を行う市町村 数	1	市町村 (R2年度)	0	市町村 (R2年度)	4	市町村 (R4年度)	1.0	市町村 (R4年度)	4.0	達成	前進(達成)	©	3	町村	環境部	環境整備課 62.ごみ処理の広域化とあわせ処理の 促進	
21	社会基盤等の個別施設計画更新数(累 計)	3	計画 (R3年度)	-	-	2	計画 (R4年度)							7	計画	土木建築部	64.道路施設長寿命化修繕事業(県道等) 65.県営住宅の長寿命化対策 66.海岸保全施設の長寿命化計画策定 67.港湾施設長寿命化事業 68.治水施設(ダム)の機能維持	
22	超高速ブロードバンドサービス基盤整備率(離島)	99.3	% (R2年度)	97.2	% (R2年度)	99.0	% (R4年度)	97.8	% (R4年度)	1.8	達成	前進(達成)	o	99.1	%	企画部	74.578.大東地区情報通信基盤整備推 進事業 75.579.超高速ブロードバンド環境整備 促進事業 76.580.離島地区情報通信基盤高度化 事業	
23	公営住宅管理戸数(離島)	30,132	戸 (R2年度)	4,658	戸 (R2年度)	4,733	戸 (R4年度)	4,675.3	戸 (R4年度)	75.0	達成	前進(達成)	©	4,710	戸	土木建築部	65.県営住宅の長寿命化対策 82.394.612.沖縄県移住受入協議会の開催 80.300.公営住宅整備事業	
24	都市計画区域における一人当たりの都市公園面積	10.95	㎡/人 (R2年度)	36.65	㎡/人 (R2年度)	34.54	㎡/人 (R4年度)	36.65	㎡/人 (R4年度)	▲ 2.1	未達成	後退	×	36.65	m²/人	土木建築部	都市公園課 26.89.都市公園整備事業 【要因】 都市公園の整備面積は、目標値を達成したが、当該指標の一人当たりの都市公園面積については、人の動向により、計画値を下回り、未達成となった。 【対策】 当該指標は、人口の動向により計画値を下回ることがあるが、都市公園の整備面積については、目標で達成できるよう努める。	
	国土強靱化地域計画の策定・改定率									•		•				知事公室	防災危機管 理課	
25	国土強靱化地域計画の策定率	38	% (R3年度)	-	-	78.5	% (R4年度)							100	%	知事公室	防災危機管 理課 98 大規模災害対応力強化 104 災害時における関係機関との連携 強化	
	国土強靱化地域計画の改定率	2	% (R3年度)	-	-	4.7	% (R4年度)							35	%	知事公室	防災危機管 理課 98 大規模災害対応力強化 104 災害時における関係機関との連携 強化	
26	自主防災組織率	37.2	% (R3年度)	39.2	% (R3年度)	40.5	% (R4年度)	42.8	% (R4年度)	1.3	36.1%	前進	•	50	%	知事公室	防災危機管 理課 96.地域防災リーダー育成・普及啓発事 業	
27	緊急輸送道路における無電柱化率	5.4	% (R2年度)	-	-	5.6	% (R4年度)							5.8	%	土木建築部	道路管理課 105.無電柱化推進事業(緊急輸送道路)	
28	防災拠点となる公共施設等の耐震化率	92.4	% (R2.10)	-	-	94.3	% (R3.10)							94.5	%	知事公室	防災危機管理課	

															担当	当部課 T			
No. 指標名		もの現状 考値)	離島(の現状 準値)	実終	責値	計画	値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和6 目標		部局名	課名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
29 再生可能エネルギー電源比率	8.2	% (R2年度)	-	-	11.1	% (R3年度)							12.1	%	商工労働部	産業政策課	117.補助事業による再エネ設備等の導 入支援		
30 一人当たりの二酸化炭素排出量	8.0	t−CO₂/人 (R元年度)	-	-	7.1	t−CO₂/人 (R2年度)							6.6	t-CO2/人	環境部	理技术出	121.産業部門における省エネルギー対 策の推進 122.376.民生部門における普及啓発活 動		
一般廃棄物及び産業廃棄物のリサイクル	レ率														環境部	環境整備課			
一般廃棄物及び産業廃棄物のリサイク ル率(一般廃棄物) 31	16.6	% (R2年度)	-	-	10.1	% (R3年度)							20.8	%	環境部	環境整備課	125.島しょ型資源循環社会構築事業		
一般廃棄物及び産業廃棄物のリサイク ル率(産業廃棄物)	51.1	% (R2年度)	-	-	45.2	% (R3年度)							50.6	%	環境部	環境整備課	126.産業廃棄物発生抑制・リサイクル等 推進事業	<u> </u>	
一般廃棄物・産業廃棄物プラスチック排と	出(リサイクル	含む)量													環境部	環境整備課			
ー般廃棄物プラスチック排出 (リサイクル含む)量 32	124,072	トン (R2年度)	-	-	112,945	トン (R3年度)							118,733	トン	環境部	環境整備課			
産業廃棄物プラスチック排出 (リサイクル含む)量	26,740	トン (R2年度)	-	-	26,061	トン (R3年度)							27,137	トン	環境部	環境整備課			
33 海岸漂着物回収・処理量	533	トン (R2年度)	-	-	1,291	トン (R4年度)							400	トン	環境部	環境整備課	138.軽石を含む海岸漂着物の県及び市 町村による回収・処理		
【基本施策】1一(3)	住民の生	活コストに係	る負担軽	減及び離島	を結び、支	える安全・	安心でシーム	ムレスな交	通体系の構築		-	-							
低減化した路線における航路・航空路の	利用者数(離	島住民)													企画部	交通政策課			
低減化した路線における航路の利用者 数(離島住民) 34	-	-	468	千人 (R3年度)	528	千人 (R4年度)	530.3	千人 (R4年度)	60.0	96.3%	前進	0	655	千人	企画部	交通政策課	141.沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業		
低減化した路線における航空路の利用 者数(離島住民)	-	-	292	千人 (R3年度)	418	千人 (R4年度)	335.3	千人 (R4年度)	126.0	達成	前進(達成)	©	422	千人	企画部	交通政策課	141.沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業		
沖縄本島・離島間のレギュラーガソリン 35 の価格差(本島を100とした場合の指 数)	-	-	110	程度 (R3年度)	112	程度 (R4年度)	110.0	程度 (R4年度)	2.0	未達成	後退	×	110	程度	企画部	地域·離島課	143.石油製品輸送補助事業	【要因】 本島・離島間の石油製品の輸送費については実費相当額を補助しているところ。一方で、離島は本島に比べて販売量が少なく、経営を維持するためには粗利を高く設定せざるを得ないこと等から、本島との価格差が生じている状況となっている。 【対策】 今後は、本島・離島間の価格差要因分析を進め、更なる価格差縮小に向けて取り組んでいく。	

No. 指標名		見の現状 考値)	離島(D現状 集値)	実糸	責値	計區	画値	改善幅 (実績値-基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分		6年度 漂値	担当	語課 課名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
36 離島港湾における定期航路の数	-	-	22	航路 (R3年)	22	航路 (R4年)	22.0	航路 (R4年)	0.0		前進(達成)	0	22	航路	企画部	交通政策課	146.離島港湾の利便性向上推進事業 147.離島航路補助事業 148.離島航路運航安定化支援事業 149.新たな航路の開設に向けた検討		
37 離島空港の年間旅客数	1,084.0	万人 (R3年度)	284.1	万人 (R3年度)	472.0	万人 (R4年度)	493.4	万人 (R4年度)	187.9	89.8%	前進	0	499.7	万人	土木建築部	空港課	152.定期航空路線の維持 153.離島空港の維持補修・機能向上整 備 154.離島拠点空港の国際線受入体制 整備の支援 155.路線再開・継続運航支援 156.伊平屋空港の整備		
38 離島における乗合バス利用者数	17,785	千人 (R2年度)	498	千人 (R2年度)	678	千人 (R4年度)	647.0	千人 (R4年度)	180.0	達成	前進(達成)	©	945	千人	企画部	交通政策課	123.公共交通利用促進広報(シームレスな陸上交通体系機能事業) 160.市町村主催の地域公共交通会議棟への参画 161.バス路線補助事業(生活バス路線確保対策) 163.地域公共交通計画の策定促進(交通体系整備推進事業) 171.多様なモビリティの充実に向けた環境整備(交通体系整備推進事業)		
39 電動車(EV•PHV)普及率	0.221	% (R2年度)	-	-	0.249	% (R3年度)							1.016	%	環境部	環境再生課	169.電動車転換促進事業 170.次世代自動車普及に向けた啓発活 動		
【基本施策】1一(4)	離島医療	の充実と健康	康・福祉の	島づくり															
40 医療施設従事医師数(離島)	3,775	人 (R2年度)	212	人 (R2年度)	212	人 (R2年度)	212.0	人 (R4年度)					212	Д	保健医療部	医療政策課	172.363.県立病院医師確保支援事業 173.362.県立病院専攻医養成事業 174.364.へき地医療支援機構運営事業 175.360.自治医科大学学生派遣事業 177.離島診療所代診医支援事業 183.へき地診療所施設整備等補助事業 費		
41 へき地診療所の医療従事医師数	29	人 (H30年度)	21	人 (H30年度)	21	人 (R4年度)	21.0	人 (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	©	21	Д.	保健医療部	医療政策課	172.363.県立病院医師確保支援事業 173.362.県立病院専攻医養成事業 174.364.へき地医療支援機構運営事業 175.360.自治医科大学学生派遣事業 177.離島診療所代診医支援事業 183.へき地診療所施設整備等補助事業 費		
42 島外医療施設への通院費の助成を受けた人数	-	-	3,306	人 (R3年度)	3253	人 (R4年度)	3,304.0	人 (R4年度)	▲ 53.0	未達成	後退	×	3,300	Д.	保健医療部	医療政策課	186.離島医療体制確保支援事業(離島 患者等通院費支援事業)	【要因】 離島住民による通院費助成の活用が想定より少なかった、 【対策】 住民に対する助成制度の周知及び通院費の助成対象拡充について、事業の実施主体である市町村に対し協力を求める。	
43 感染管理認定看護師及び感染症看護 専門看護師数	45	人 (R2年)	-	-	93	人 (R4年度)							60	Д	保健医療部	保健医療総務課	191新興·再興感染症に対応する看護 の質の向上 192.感染症法に基づき指定する第一種 及び第二種感染症指定医療機関にお ける感染症患者の病床確保の支援		

N	b. 指標名	沖縄県 (参え		離島 <i>の</i> (基準)現状 ≛値)	実糸	責値	計画値	改善幅 (実績値-基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和6年度 目標値	担当	á部課 開名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
	平均寿命													保健医療部	健康長寿課			
4	平均寿命(男性)	80.27	年 (H27年度)	-	-	80.73	年 (R4年度)						前回調査から延伸	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業 204.がん検診の精度管理向上 205.食育推進事業 206.健康増進事業等推進事業 207.生活習慣病予防対策事業 208.糖尿病予防戦略事業 209.たばこ対策促進事業 210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		
	平均寿命(女性)	87.44	年 (H27年度)	-	-	87.88	年 (R4年度)						前回調査から延伸	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業204.がん検診の精度管理向上205.食育推進事業206.健康増進事業等推進事業207.生活習慣病予防対策事業208.糖尿病予防戦略事業209.たばこ対策促進事業210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		
	健康寿命				•									保健医療部	健康長寿課			•
4	健康寿命(男性)	72.11	年 (R元年度)	-	-	72.11	年 (R4年度)						前回調査から延伸	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業 204.がん検診の精度管理向上 205.食育推進事業 206.健康増進事業等推進事業 207.生活習慣病予防対策事業 208.糖尿病予防戦略事業 209.たばこ対策促進事業 210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普 及		
	健康寿命(女性)	75.51	年 (R元年度)	-	-	75.51	年 (R4年度)						旋回調査から延伸	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業 204.がん検診の精度管理向上 205.食育推進事業 206.健康増進事業等推進事業 207.生活習慣病予防対策事業 208.糖尿病予防戦略事業 209.たばこ対策促進事業 210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		
	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)			•							•	,		保健医療部	健康長寿課			•
4	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因) (男性)	265.4	(H27年度)	-	_	253.7	(R4年度)						256.9 –	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業 204.がん検診の精度管理向上 205.食育推進事業 206.健康増進事業等推進事業 207.生活習慣病予防対策事業 208.糖尿病予防戦略事業 209.たばこ対策促進事業 210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普 及		
	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因) (女性)	129.7	(H27年度)	-	-	119.4	(R4年度)						110.4 –	保健医療部	健康長寿課	203.健康増進計画推進事業 204.がん検診の精度管理向上 205.食育推進事業 206.健康増進事業等推進事業 207.生活習慣病予防対策事業 208.糖尿病予防戦略事業 209.たばこ対策促進事業 210.飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		

No.	指標名	沖縄県 (参a	の現状 考値)		の現状準値)	実紀	績値	計画	画値	改善幅 (実績値-基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成区分	令和(目标	6年度 票値		部課	 関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
																部局名	課名			
47	スポーツ実施率	58.3	% (R3年度)	-	-	48.1	% (R4年度)							62.2	%	文化観光スポーツ部	スポーツ振 興課	211.総合型スポーツクラブの創設・育成 212.クラブアドバイザーによる総合型地 域スポーツクラブへの支援 213.女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進 214.高齢者の体力や健康状態に応じたスポーツ参加の促進 215.スポーツコンベンションへの県民参加促進		
48	この地域で子育てをしたいと思う親の割 合	95.7	% (R2年度)	_	_	95.6	% (R4年度)							95.5	%	保健医療部	地域保健診	216.母子健康包括支援センター事業等 に関する支援 217.妊婦健康診査の必要性の周知 218.生涯を通じた女性の健康支援事業 220.乳幼児健康診査の充実 221.先天性代謝異常等検査 223.子どもの心の診療ネットワーク事業		
49	産後ケア事業実施市町村数	20	市町村 (R2年度)	12	市町村 (R4年度)	12	市町村 (R4年度)	14.0	市町村 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	18	市町村	保健医療部	地域保健認	216.母子健康包括支援センター事業等 に関する支援 217.妊婦健康診査の必要性の周知 218.生涯を通じた女性の健康支援事業		
50	乳児健康診査の受診率	85.8	% (R2年度)	-	-	89.3	% (R4年度)							97	%	保健医療部	地域保健認	220.乳幼児健康診査の充実 221.先天性代謝異常等検査 222.こども医療費助成 223.子どもの心の診療ネットワーク事業		
51	保育所等入所待機児童数(顕在・潜在)	2,581	人 (R2年度)	135	人 (R2年度)	139	人 (R4年度)	90.0	人 (R4年度)	4.0	未達成	後退	×	0	Д	子ども生活 福祉部	子育て支援 課	える。 224.潜在保育士を含む保育士の確保	【要因】 久米島町、伊平屋村において保育士不足により待機 児童数が増えたことによる。 【対策】 保育士確保対策強化事業において、保育士の魅力 発信や新規・潜在保育士の確保に取り組む。	
52	周産期死亡率(出産千対)	3.5	(R2年)	-	-	3.2	(R4年)							2.4		保健医療部	地域保健認	231.小児慢性特定疾病医療費助成事業 232.周産期医療体制整備対策事業(協議会の開催) 233.周産期保健医療体制強化支援事業 234.周産期医療体制整備対策事業(研修会の開催)		
53	子供の貧困対策支援員による支援人 数	8,625	人 (R3年度)	425	人 (R3年度)	458	人 (R4年度)	425.0	人 (R4年度)	33.0	達成	前進(達成)	0	425	Д	子ども生活 福祉部	子ども未来 政策課	237.沖縄子供の貧困緊急対策事業(子 供の貧困対策支援員の配置)		
54	子供の居場所の利用者数	276,804	人 (R3年度)	36,601	人 (R3年度)	44,638	人 (R4年度)	36,601.0	人 (R4年度)	8,037.0	達成	前進(達成)	0	36,601	,	子ども生活 福祉部	子ども未来 政策課	: 239.沖縄子供の貧困緊急対策事業(市 町村事業)		
55	ひとり親の年間就労収入	187	万円 (H30年度)	_	-	-	万円 (R4年度)							196	万円	子ども生活 福祉部	青少年・子で も家庭課	248.就労支援と子どもへの学習支援 249.ひとり親家庭等の就業促進・自立 促進を図る総合的な支援 251.ひとり親家庭生活支援事業 254.592.就職困難者等への就労支援 255.ひとり親世帯の個々の課題に応じ た就労支援 256.正規雇用に取り組む企業への専門 家派遣や研修費用助成		
56	子ども・若者支援地域協議会設置件数	2	件 (沖縄県、石 垣市) (R3年度)	1	件 (石垣市) (R3年度)	2	件 (石垣市、伊 江村) (R4年度)							3	件 (沖縄県、石 垣市、県内 町村)	子ども生活 福祉部	青少年・子んも家庭課	ジ 261.子ども・若者育成支援事業 262.子ども・若者支援地域協議会の設 置促進		

																担当	部課			
No.	指標名		もの現状 考値)		の現状集値)	実絹	漬値	計	画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分		6年度 標値	部局名	課名	- 関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
57	地域小規模児童養護施設数	8	施設 (R元年度)	0	施設	0	施設 (R4年度)	0.0	施設 (R4年度)	0.0		横ばい	Δ	0	施設	子ども生活 福祉部	青少年・子とも家庭課	〕 267.子どもの意見表明を受け止める体 制の構築等		
	元気な高齢者の割合(要介護認定を受けていない高齢者の割合)	86.2	% (R2年度)	-	-	86.4	% (R4年度)	86.6	% (R4年度)					86.3	%	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課			
59	介護サービスを受けられる離島数	-	-	31	島 (R3年度)	31	島 (R4年度)	31.0	島 (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	©	31	島	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課	274.離島地域における安定的な介護 サービス提供体制の確保 275.離島小規模特養等支援事業		
	人口10万人当たりの介護老人福祉施設(±	也域密着型	を含む)及び認:	知症高齢者グ	·ループホーム5	定員数	!				!		!	Į.	!	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課			
60	人口10万人当たりの介護老人福祉施設(地域密着型を含む)及び認知症高齢者グループホーム定員数(宮古圏域)	416	人 (R2年度)	466	人 (R2年度)	435	人 (R4年度)	471.0	人 (R4年度)	▲ 31.0	未達成	後退	×	481	Д	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課	274.離島地域における安定的な介護 サービス提供体制の確保 275.離島小規模特養等支援事業 276.老人福祉施設等の整備 278.介護保険事業所への運営指導 279.介護保険事業所に対する集団指導 280.有料老人ホームに対する集団指導	【要因】 施設の整備は、図面の詳細調整、建設用地に係る開発行為、農地転用、建築確認、施工業者の決定等、 工事着工前の準備に半年以上の期間を要する。(なお、実績値については、認知症高齢者グループホーム3施設(27人)の廃止によるもの。) 【対策】 市町村に対して、事業者と連携を密にするよう促す。 また、市町村と連携し、市町村の施設整備計画の妥当性、実現可能性、事業スケジュール等について協議を行う。	
	人口10万人当たりの介護老人福祉施設(地域密着型を含む)及び認知症高齢者グループホーム定員数(八重山圏域)	416	人 (R2年度)	478	人 (R2年度)	477	人 (R4年度)	536.7	人 (R4年度)	▲ 1.0	未達成	後退	×	654	۸	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課	サービス提供体制の確保 275.離島小規模特養等支援事業 276.老人福祉施設等の整備 278.介護保険事業所への運営指導 279.介護保険事業所に対する集団指導	【要因】 施設の整備は、図面の詳細調整、建設用地に係る開発行為、農地転用、建築確認、施工業者の決定等、工事着工前の準備に半年以上の期間を要する。(なお、実績値については、八重山地域の人口増によるもの。(施設数は増減無し)) 【対策】 市町村に対して、事業者と連携を密にするよう促す。また、市町村と連携し、市町村の施設整備計画の妥当性、実現可能性、事業スケジュール等について協議を行う。	
61	福祉施設から地域生活への移行者数	3.0	% (R元年度)	-	-	6.0	% (R4年度)							4.0	%	子ども生活 福祉部	障害福祉課	281.障害児者福祉施設整備事業費 282.精神障害者地域移行·地域定着促進基金事業 283.障害者相談支援体制整備事業 284.重度心身障害者(児)医療費助成 事業 285.軽度·中等度難聴児補聴器購入費 助成事業		
62	発達障害者の相談窓口を設置している 市町村数	27	市町村 (R3年度)	10	市町村 (R3年度)	10	市町村 (R4年度)	11.0	市町村 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	13	市町村	子ども生活 福祉部	障害福祉課	289.発達障害者支援センター運営事業 290.医療的ケア児等総合支援事業		
63	地域福祉計画に包括的な支援体制の整備を位置づけている市町村割合	24.39	% (R2年度)	22.22	% (R3年度)	27.78	% (R4年度)	24.1	% (R4年度)	5.6	達成	前進(達成)	0	27.78	%	子ども生活 福祉部	福祉政策課	293.地域住民を見守り、支えるネット ワーク形成促進事業		
64	民生委員の充足率	81.5	% (R3年度)	86.0	% (R3年度) ※一部離島の 市町村を除く	77.6	% (R4年度) ※一部離島の 市町村を除く	86.9	% (R4年度) ※一部離島の 市町村を除く	▲ 8.4	未達成	後退	×	88.7	% ※一部離島の 市町村を除く	子ども生活 福祉部	福祉政策課	294.民生委員児童委員活動の推進	【要因】 令和4年度においては、3年間の任期満了に伴う民生委員の一斉改選に併せて、任期満了に伴う更新を希望しない解嘱者が増加し、そのほか一斉改選以前からの欠員が生じていたこと等により、更新した者と新任の者の人数がその不足分を下回ったことによる充足率の低下が生じている。 【対策】 民生委員・児童委員の活動等について周知を図り、市町村や民児協などの関係機関と連携を取りながら目標値の達成を目指す。	

No.	指標名	沖縄県(参え		離島(の現状 準値)	実糸	責値	計[画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成区分		6年度 票値	担当部局名		関連する主な取組 1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
65	公営住宅管理戸数(離島)【再掲】	30,132	戸 (R2年度)	4,658	戸 (R2年度)	4,733	戸 (R4年度)	4,675.3	戸 (R4年度)	75.0	達成	再掲		4,710	戸	土木建築部	住宅課 82.394.612.決 催	この長寿命化対策 沖縄県移住受入協議会の開 住宅整備事業		No.23の再掲
	【基本施策】1一(5)	教育∙文化	この振興及び	ゾ地域を支	える人材の	育成∙確保						-	-							
	将来の夢や目標を持ち、自らやると決め)たことをやり遠 -	遂げるようにして	ている児童生徒	走の割合							_				教育庁	義務教育課			
	将来の夢や目標を持ち、自らやると決 めたことをやり遂げるようにしている児 童生徒の割合(小学校)	82.3	% (R3年度)	-	-	82.95	% (R4年度)							83.0	%	教育庁	義務教育課 316.学力向.	上学校支援(小学校)		
	将来の夢や目標を持ち、自らやると決 めたことをやり遂げるようにしている児 童生徒の割合(中学校)	79.4	% (R3年度)	_	_	78.85	% (R4年度)							80.0	%	教育庁	義務教育課 317.学力向.	上学校支援(中学校)		
67	新規学卒者(高校)に占める高等教育 機関への進学率	68.7	% (R3年度)	-	-	70.5	% (R4年度)	69.3	% (R4年度)					70.5	%	総務部	総務私学課 -			
68	複式学級への非常勤講師の派遣割合	66.0	% (R3年度)	65.4	% (R3年度)	162.5	% (R4年度)	69.0	% (R4年度)	97.1	達成	前進(達成)	0	76.2	%	教育庁	学校人事課 301.複式学績	級の教育環境の充実		
69	公立学校耐震化率	96.8	% (R3年度)	-	-	97.9	% (R4年度)							98.2	%	教育庁	施設課 72.306.公立	小中学校施設整備事業		
70	離島高校生の教育用コンピュータ1台 当たりの生徒数	1.6	人/台 (R3年度)	1.1	人/台 (R3年度)	1.1	人/台 (R4年度)	1.1	人/台 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	1.0	人/台	教育庁	教育支援課 309.ネットワ 310.ICT活用	'一ク環境整備 月環境整備		
71	教員のICT活用指導力(高等学校)	79.9	% (R2年度)	-	-	78.2	% (R4年度)							90.0	%	教育庁	県立学校教 育課 313.校務の	徒がICTに触れる機会の推 デジタル化 レ教材の充実		
72	家で自ら計画を立てて勉強している児 童・生徒の割合(小学校・中学校)	63.9	% (R3年度)	-	-	60.7	% (R4年度)							全国平均	りとの差0	教育庁	義務教育課 318.キャリア	7教育研修の実施		
73	県・市町村における生涯学習講座の受 講者数	47,129	人 (R2年度)	-	-	96,446	人 (R4年度)							168,000	Д	教育庁	生涯学習振 興課 322.生涯学	習情報提供体制の整備		
74	生涯学習講座のサテライト施設数	11	施設 (R3年度)	6	施設 (R3年度)	6	施設 (R4年度)	8.7	施設 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	14	施設	教育庁	生涯学習振 興課 324.遠隔講	義配信システムの充実		
75	公民館等の利用者延べ人数	823	千人 (R2年度)	104	千人 (R3年度)	104	千人 (R4年度)	141.0	千人 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	215	千人	教育庁	生涯学習振 328.図書館相 興課 整備促進	機能を持つ社会教育施設の		

																担当	部課			
No.	指標名		の現状 考値)	離島((基達	の現状 準値)	実終	責値	計画	画値	改善幅 (実績値-基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成 区分	令和(目 ^材	6年度 漂値	部局名	課名	- 関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
76	社会教育施設(青少年の家)利用者数	523	千人 (R2年度)	18	千人 (R2年度)	33	千人 (R4年度)	24.3	千人 (R4年度)	15.0	達成	前進(達成)	0	37	千人	教育庁	生涯学習振 興課	329.青少年教育施設の整備		
77	県が支援した文化芸術関連イベントの 参加者数	46,808	人 (R3年度)	-	-	181,926	人 (R4年度)							345,000	,	文化観光スポーツ部	文化振興課	335.離島地域における文化芸術体験機会の提供		
78	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能 を理解した児童生徒の割合	84	% (R2年度)	-	-	86	% (R4年度)							85	%	教育庁	文化財課	330.文化振興事業費 331.青少年文化活動事業費		
79	市町村文化協会会員数	11,844	名 (R3年度)	1,782	名 (R3年度)	1450	名 (R4年度)	1,832.0	名 (R4年度)	▲ 332.0	未達成	後退	×	1,932	名	文化観光スポーツ部	文化振興課	341.伝統的食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の機運醸成	【要因】 会員の高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。 【対策】 コロナ禍前(令和元年度)の活動水準を維持することを最優先に、地域の文化芸術活動の活性化に取り組む。	
80	介護支援専門員の養成数(累計)	6,619	人 (R2年度)	_	_	6,841	人 (R4年度)	6,800	人 (R4年度)					6,980	,	子ども生活 福祉部	高齢者福祉 介護課	271.離島地域における介護人材の確保・育成に対する支援 272.離島地域における介護未経験者を対象とした参入促進の取組 344.介護支援専門員(ケアマネジャー)の育成及び確保 345.訪問介護員等の育成 346.介護役職者の資質向上 347.介護職の認知症介護技術の向上 348.福祉人材研修センター事業 349.介護事業所における支援 350.介護未経験者を対象とした参入促進の取組【再掲】 351.介護人材の確保・育成に対する支援 援【再掲】 352.外国人介護人材の受入支援		
81	保育従事者数	11,454	人 (R4年度)	1,058	人 (R4年度) ※一部離島の 市町村を除く	999	人 (R4年度) ※一部離島の 市町村を除く	1,073.0	人 (R4年度) ※一部離島の 市町村を除く	▲ 59.0	未達成	後退	×	1,103	人 ※一部離島の 市町村を除く	子ども生活 福祉部	子育て支援 課	保 356.保育士の定着に向けた処遇・労働 環境の改善 257.保育士の知識が 業務が美事業	【要因】 コロナ禍において、離島への移動が制限されたこと等により、保育士の確保が難しくなったため。 【対策】 保育士確保対策強化事業において、保育士の魅力発信や新規・潜在保育士の確保に取り組む。	
	人口10万人当たりの医療施設に従事する	医師数									•					保健医療部	医療政策課		•	
82	人口10万人当たりの医療施設に従事す る医師数(宮古)	257.2	人 (R2年) 県平均	174.1	人 (R2年)	174.1	人 (R4年)	県平均との	の差を縮小	0.0		横ばい	Δ	県平均との	の差を縮小	保健医療部	医療政策課	172.363.県立病院医師確保支援事業 174.364.へき地医療支援機構運営事業 175.360.自治医科大学学生派遣事業 358.指導医育成プロジェクト事業		
	人口10万人当たりの医療施設に従事す る医師数(八重山)	257.2	人 (R2年) 県平均	189.7	人 (R2年)	189.7	人 (R4年)	県平均との	の差を縮小	0.0		横ばい	Δ	県平均との	の差を縮小	保健医療部	医療政策課	172.363.県立病院医師確保支援事業 174.364.へき地医療支援機構運営事業 175.360.自治医科大学学生派遣事業 358.指導医育成プロジェクト事業		
83	人口10万人当たりの看護師就業者数	1,149.0	人 (R2年)	-	-	-	人 (R4年)							1,241.8	Д	保健医療部	保健医療総 務課	365.看護師等修学資金貸与事業費 366.県内就業准看護師の進学支援事 業 367.新人看護職員研修事業		

																担当	治部課	
No.	指標名	沖縄県 (参え	の現状 考値)	離島の(基準	の現状 準値)	実紀	責値	計	画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和(目标	6年度 票値	部局名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応) 達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載) 備:	考
84	人口10万人当たりの薬局・医療施設に 従事する薬剤師数	148.3	人 (R2年)	98.8	人 (R2年)	98.8	人 (R4年)	102.1	人 (R4年)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	108.8	Д	保健医療部	衛生薬務課 371.薬剤師確保対策事業	
85	環境啓発活動参加延べ人数【再掲】	59,691	人 (R元年度)	-	-	13,691	人 (R4年度)					再掲		31,600	Д	環境部	4.50.378.児童生徒への啓発 47.133.374.環境保全啓発事業(出前講 座等による環境保全活動の促進) 48.375.ちゆら島環境美化促進事業(普 及啓発) 49.県民参加型外来種防除の実施	
86	景観形成人材育成講習会等参加人数(累計)	-	-	-	-	422	人 (R4年度)							900	٨	土木建築部	都市計画・モ ノレール課	
	【基本施策】1一(6)	多様な主体	本の参画と述	連携による	共助•共創(の地域づく	Ŋ					-	-					
87	地域おこし協力隊・地域プロジェクトマ ネージャー数	359	人 (累計) (R2年度)	215	人 (累計) (R2年度)	254	人 (累計) (R4年度)	227.7	人 (累計) (R4年度)	39.0	達成	前進(達成)	©	253	人 (累計)	企画部	382.392.610地域おこし協力隊等への研 地域・離島課 修支援 389.地域づくりに関する情報発信	
88	NPO認証法人数	761	法人 (R2年度)	95	法人 (R2年度)	779	法人 (R4年度)							811	法人	子ども生活 福祉部	消費・くらし 安全課 384.NPO等市民活動の促進	
89	NPOと県との協働事業数	398	事業 (R2年度)	24	事業 (R2年度)	526	事業 (R4年度)							552	事業	子ども生活 福祉部	387.NPO法人に対する活動基盤整備支 消費・くらし 接 安全課 388.NPO等との協働の取組に係る情報 発信	
	【基本施策】1一(7)	移住促進、	関係人口の	の創出・拡大	大と新しい地	也域づくりσ)推進					-	-					
90	移住相談件数	193	件 (R2年度)	27	件 (R2年度)	30	件 (R4年度)	30.3	件 (R4年度)	3.0	90.0%	前進	0	37	件	企画部	82.394.612.沖縄県移住受入協議会の開催 地域・離島課 地域・離島課 修支援 391.609.移住応援サイトの運用 393.611.中間支援組織の育成支援	
91	本島及び離島から離島への派遣やオン ラインで交流する児童数(累計)	-	-	619	人 (R3年度)	2176	人 (R4年度)	2,619.0	人 (R4年度)	1,557.0	77.9%	前進	0	6,619	Α	企画部	398.439.離島観光活性化促進事業(主 要離島観光協会によるプロモーションの 実施) 399.438.離島観光活性化促進事業(各 地域・離島課 相プロモーションの実施) 400.436.553.離島ブランディング(島あっ ちい・島まーる推進)事業 449.639.沖縄離島体験・デジタル交流促 進事業	
	離島地域におけるテレワーク・ワーケーシ	ョン推進施設	との利用者数及	なびテレワーク	人材等の登録:	者数	•		1							企画部	地域・離島課	
92	離島地域におけるテレワーク・ワーケー ション推進施設の利用者数	-	-	1,951	人 (R3年度)	7,039	人 (R4年度)	2,053.7	人 (R4年度)	5,088.0	達成	前進(達成)	©	2,259	Д	企画部	地域・離島課 397.407.608.沖縄しまっちんぐ推進事業 406.607.コワーキングスペースの設置	
	離島地域におけるテレワーク人材等の 登録者数	-	-	621	人 (累計) (R3年度)	669	人 (累計) (R4年度)	714.0	人 (累計) (R4年度)	48.0	51.6%	前進	•	900	人 (累計)	企画部	地域·離島課 405.606.離島ICT利活用人材等高度化 事業	

Г																担当	部課		
No.	指標名		見の現状 考値)		の現状 準値)	実統	績値	計區	画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成区分	令和6 目標	6年度 票値	部局名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応) 課名	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
93	企業版ふるさと納税寄附額	131,792	千円 (R3年度)	68,372	千円 (R3年度)	778300	千円 (R4年度)	85,581.3	千円 (R4年度)	709,928.0	達成	前進(達成)	0	120,000	千円	企画部	408.「企業版ふるさと納税」に係る地域 地域・離島課 再生計画の認定を受けた離島市町村 数		
94	離島留学に取り組んでいる市町村数	-	-	4	市町村 (R3年度)	4	市町村 (R4年度)	4.0	市町村 (R4年度)	0.0		前進(達成)	0	4	市町村	企画部	地域・離島課 409.離島留学についての情報発信		
2.	次代を拓くフロンティア	龙 策ℓ	の展開																
	【基本施策】2一(1)	持続可能 ⁻	で質の高い	観光の推進	進							-	-						
95	 現光収入	7,047	億円 (R元年度)	-	-	7,013	億円 (R4年度)							7,616	億円	文化観光スポーツ部	観光政策課		
	雅島の持続可能な観光を推進するための)取組が行わ	れていると感じ	た観光客の割	割合			2	V		V	V	V			文化観光スポーツ部	観光振興課		
	雅島の持続可能な観光を推進するため の取組が行われていると感じた観光客 の割合(宮古圏域)	40.7	%	37.1	% (R3年度)	37.5	% (R4年度)	41.4	% (R4年度)	0.4	9.3%	前進	•	50.0	%	文化観光スポーツ部	410.離島市町村における観光地マネジメントの促進 観光振興課 411.住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発 422.県民意識の啓発		
	離島の持続可能な観光を推進するため の取組が行われていると感じた観光客 の割合(八重山圏域)	40.7	%	45.4	% (R3年度)	47.6	% (R4年度)	46.9	% (R4年度)	2.2	達成	前進(達成)	©	50.0	%	文化観光スポーツ部	410.離島市町村における観光地マネジメントの促進 観光振興課 411.住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発 422.県民意識の啓発		
	雅島の持続可能な観光を推進するため の取組が行われていると感じた観光客 の割合(久米島圏域)	40.7	%	31.1	% (R3年度)	32.5	% (R4年度)	37.4	% (R4年度)	1.4	22.2%	前進	•	50.0	%	文化観光スポーツ部	410.離島市町村における観光地マネジメントの促進 観光振興課 411.住民生活や自然環境への配慮等 に関する周知啓発 422.県民意識の啓発		
97	各離島市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数(累計)	17	市町村 (R3年度)	6	市町村 (R3年度)	7	市町村 (R4年度)	7.7	市町村 (R4年度)	1.0	60.0%	前進	0	11	市町村	文化観光スポーツ部	観光振興課 414.観光地の混雑解消・分散化・平準 化		
98	旅行中に利用した公共交通機関の割 合	67.3	% (R3年度)	_	-	78.5	% (R4年度)							70.3	%	文化観光スポーツ部	観光振興課 418.観光基盤情報の収集・整備		
99	離島地域への入域観光客数	327	万人 (R3年度)	166	万人 (R2年度)	174	万人 (R4年度)	253.7	万人 (R4年度)	8.0	9.1%	前進	•	429	万人	企画部	400.436.553.離島ブランディング(島あっちい・島まーる推進)事業 403.425.離島観光活性化促進事業(国内線チャーター便支援) 401.423.離島地域における旅館業税制特例措置の利用促進		
100	平均滞在日数	3.70	日 (国内客·外国 客) (R元年度)	_	-	4.2	日 (国内客·外国 客) (R4年度)							4.21	B	文化観光ス ポーツ部	415.持続可能なマリンレジャーの振興 426.多彩かつ質の高い観光コンテンツ の開発 427.フィルムツーリズムの推進 428.「琉球料理が味わえる店(仮)」店舗 認証制度 430.ウェルネス等に関する観光コンテン ツの開発		

		治 維度	具の現状	鄭 皀 /	の現状					改善幅	達成率	達成	達成	令和64	午 庄	担当	台部課	関連する主な取組	達成状況が後退した要因と対策	
No	指標名		考値)	(基)	準値)	実統	責値	計画	国値	(実績値-基準値)	(%)	状況	区分	目標	値	部局名	課名	関連する主な成品 (様式1の施策総括表に対応)	(【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
	離島地域(宮古圏域、八重山圏域、久米)	島圏域)の満	足度【観光統計	実態調査にお	おける「大変満」	足」の割合)						1				文化観光スポーツ部	観光振興課			
	離島地域(宮古圏域)の満足度 (観光統計実態調査における「大変満 足」の割合)	64.6	% (R元年度)	69.8	% (R元年度)	66.9	% (R4年度)	70.5	% (R4年度)	▲ 2.9	未達成	後退	×	72	%	文化観光スポーツ部	観光振興課		【要因】 コロナの影響による人手不足など、受入体制に課題があったことも要因の一つと考える。 【対策】 各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。	
101	離島地域(八重山圏域)の満足度 (観光統計実態調査における「大変満 足」の割合)	64.6	% (R元年度)	71.3	% (R元年度)	70.2	% (R4年度)	71.5	% (R4年度)	▲ 1.1	未達成	後退	×	72	%	文化観光スポーツ部	観光振興課		【要因】 コロナの影響による人手不足など、受入体制に課題があったことも要因の一つと考える。 【対策】 各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。	
	離島地域(久米島圏域)の満足度 (観光統計実態調査における「大変満 足」の割合)	64.6	% (R元年度)	56.3	% (R元年度)	51.6	% (R4年度)	57.2	% (R4年度)	▲ 4.7	未達成	後退	×	59	%	文化観光スポーツ部	観光振興課		【要因】 コロナの影響による人手不足など、受入体制に課題があったことも要因の一つと考える。 【対策】 各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。	
	離島地域(宮古圏域、八重山圏域、久米!	島圏域)の一	人当たり観光洋	肖費額												文化観光スポーツ部	観光振興課			
	離島地域(宮古圏域)の一人当たり観 光消費額	76,987	円 (R元年度)	86,891	円 (R元年度)	108585	円 (R4年度)	89,771.3	円 (R4年度)	21,694.0	達成	前進(達成)	©	95,532	円	文化観光スポーツ部	観光振興課	398.439.離島観光活性化促進事業(主要離島観光協会によるプロモーションの実施) 399.438.離島観光活性化促進事業(各種プロモーションの実施) 437.離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの開発		
102	離島地域(八重山圏域)の一人当たり 観光消費額	76,987	円 (R元年度)	87,249	円 (R元年度)	116584	円 (R4年度)	90,141.0	円 (R4年度)	29,335.0	達成	前進(達成)	©	95,925	円	文化観光スポーツ部	観光振興課	398.439.離島観光活性化促進事業(主要離島観光協会によるプロモーションの実施) 399.438.離島観光活性化促進事業(各種プロモーションの実施) 437.離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの開発		
	離島地域(久米島圏域)の一人当たり 観光消費額	76,987	円 (R元年度)	62,893	円 (R元年度)	76121	円 (R4年度)	64,977.7	円 (R4年度)	13,228.0	達成	前進(達成)	©	69,147	円	文化観光ス ポーツ部	観光振興課	398.439.離島観光活性化促進事業(主要離島観光協会によるプロモーションの実施) 399.438.離島観光活性化促進事業(各種プロモーションの実施) 437.離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの開発		
	一人当たり観光消費額(娯楽・入場費、宿	滔泊費)														文化観光スポーツ部	MICE推進課			
103	一人当たり観光消費額(娯楽・入場費)	6,647	円 (国内客及び 外国客) (R元年度)	-	-	9,685	円 (国内客及び 外国客) (R4年度)							7,308	円	文化観光スポーツ部	MICE推進課	440.観光地形成促進地域制度の活用 促進 441.民間観光関連施設の投資の促進		
	一人当たり観光消費額(宿泊費)	23,398	円 (国内客及び 外国客) (R元年度)	-	-	38,746	円 (国内客及び 外国客) (R4年度)							26,646	円	文化観光スポーツ部	MICE推進課	440.観光地形成促進地域制度の活用 促進 441.民間観光関連施設の投資の促進		

																担当	台部課		
No.	指標名		もの現状 考値)	離島(基	の現状 準値)	実糸	責値	計道	 重値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成状況	達成区分	令和6 目標	6年度 票値	部局名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応) 課名	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
	観光客が「安全・安心であると感じる」割合	ì										ı				文化観光スポーツ部	観光振興課	I	
	観光客が「安全・安心であると感じる」割合(宮古)	91.8	% (R3年度)	91.6	% (R3年度)	91.6	% (R4年度)	91.6	% (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	0	91.6	%	文化観光スポーツ部	観光振興課 444.外国人観光客の傷病時等における 多言語対応		
104	観光客が「安全・安心であると感じる」割合(八重山)	91.8	% (R3年度)	93.0	% (R3年度)	93.0	% (R4年度)	93.0	% (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	0	93.0	%	文化観光スポーツ部	444.外国人観光客の傷病時等における 観光振興課 多言語対応 445.CIQの常設化及び運営体制の強化		
	観光客が「安全・安心であると感じる」割合(久米島)	91.8	% (R3年度)	92.9	% (R3年度)	92.9	% (R4年度)	92.9	% (R4年度)	0.0	達成	前進(達成)	©	92.9	%	文化観光スポーツ部	観光振興課 参言語対応		
105	リアルタイムな情報をオープンデータ化 して公開している観光施設数	0	施設 (R3年度)	-	-	2	施設 (R4年度)							3	施設	文化観光スポーツ部	446.新たな技術を活用した観光コンテンツの開発 観光振興課 447.576.コンタクトレス決済端末機導入整備事業 448.観光情報基盤構築事業		
	【基本施策】2一(2)	離島の特情	性と実情を顕	踏まえた農	林水産業の	振興						-	-						
106	かんがい施設整備率(離島)	50.4	% (R2年度)	57.8	% (R2年度)	59.8	% (R4年度)	60.2	% (R4年度)	2.0	83.3%	前進	0	61.6	%	農林水産部	村づくり計画 課 450.農業用水源・畑地かんがい施設の 整備(離島)		
107	森林整備面積	525	ha (R2年度)	280	ha (R2年度)	395	ha (R4年度)	280.0	ha (R4年度)	115.0	達成	前進(達成)	0	280	ha	農林水産部	森林管理課 458.造林事業 459.松くい虫の防除		
108	係留施設の機能高度化整備率	7	% (R2年度)	12.8	%	15	% (R4年度)	16.2	% (R4年度)	2.6	75.7%	前進	0	23.1	%	農林水産部	455.水産流通基盤整備事業(離島) 漁港漁場課 456.水産生産基盤整備事業(離島) 461.地域水産物供給基盤整備事業		
109	農業・農村の強靱化率	13.2	% (R 2 年度)	4.7	% (R2年度)	14	% (R4年度)	29.0	% (R4年度)	9.3	38.3%	前進	•	44.8	%	農林水産部	453.農業水利施設等のライフサイクルコスト低減や長寿命化の整備(離島) 村づくり計画 464.農村地域防災減災事業(農業用ため池の防災対策) 466.農業水利施設等のライフサイクルコスト低減や長寿命化の整備(離島)		
110	さとうきびの生産量(離島)	813,853	トン (R2年度)	689,000	トン (R2年度)	619,585	トン (R4年度)	624,039	トン (R4年度)	▲ 69,415.0	99.3%	前進	0	683,000	トン	農林水産部	#業農産課 470.さとうきび生産総合対策事業(離島) 471.さとうきび優良種苗安定確保事業(離島)		
111	離島市町村の農業産出額(推計)	910	億円 (R2年)	416.3	億円 (R2年度)	420	億円 (R3年度) ※推計値	436.4	億円 (R4年度)	3.7	18.4%	前進	•	476.6	億円	農林水産部	農林水産総 島) 務課 471.さとうきび生産総合対策事業(離 島) 471.さとうきび優良種苗安定確保事業 (離島)		
112	肉用子牛の取引頭数(離島)	25,050	頭 (R3年度)	17,405	頭 (R3年度)	17,441	頭 (R4年度)	17,725.7	頭 (R4年度)	36.0	11.2%	前進	•	18,367	頭	農林水産部	479.肉用牛群改良基地育成事業 畜産課 515.畜産担い手育成総合整備事業(離 島)		
113	スマート農林水産技術の導入産地数 (累計)	1	産地 (R2年度)	1	産地 (R2年度)	5	産地 (R4年度)							5	産地	農林水産部	農林水産総 移課 482.スマート農林水産技術の実証 484.スマート畜産導入支援事業		

No. 指標名		見の現状 考値)		の現状 隼値)	実彩	責値	計區	 面值	改善幅 (実績値-基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成区分	令和6 目標		担当部課 部局名 課名	— 関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
他産業と連携している農産加工事業者 割合	36.7	% (R2年度)	-	-	31.6	% (R4年度)							42.5	%	農林水産部 流通・加工注 進課	477.488.6次産業化の支援 作 486.6次産業化事業者と他産業との連 携支援 487.6次産業化における商品開発支援		
農林水産物の6次産業化関連事業者 の年間販売額	245	億円 (R2年度)	-	-	213.3	億円 (R4年度)							255	億円	農林水産部 漁課	402.424.491.グリーン・ツーリズムの推進 (489.地域農林水産物活用の促進 (505.539.県内ホテル等での地産地消の 推進		
116 農林水産物・食品の輸出額	32.1	億円 (R2年度)	-	-	48.0	億円 (R4年度)							39.7	億円	農林水産部 流通・加工	490.6次産業化における販路開拓支援 493.県産農産物の認知度向上 494.県産農林水産物の海外輸出強化 495.県産農林水産物の他県との差別化 の推進		
117 農水産物直売所の年間販売額	147	億円 (R2年度)	-	-	132	億円 (R4年度)							152	億円	農林水産部 流通・加工 進課	499.地産地消に取り組む飲食店等の拡大 500.534.直売所での地産地消の推進 501.535.県内ホテルへの地産地消に係る情報発信 502.536.観光客等への県産食材の魅力 発信 503.537.学校給食での地産地消の推進		
118 漁業生産量(離島推計)	12,928	トン (R2年度)	10,950	トン (R2年度)	15,474	トン (R3年度) ※推計値	10,843.3	トン (R4年度)	4,524.0	達成	前 進(達成)	©	10,630	トン	農林水産部 水産課	504.538.水産物の消費拡大と魚食の推進 506.水産資源と漁場環境の適切な保全と管理 507.漁業者の安全操業確保 509.水産関係施設整備事業 510.サンゴ礁生態系保全・再生のための取組 511.サンゴ礁域で行われる漁業におけるSDGsブランド化に向けた取組 512.漁業秩序の維持		
119 家畜頭数(肉用牛、豚)	116,729	頭 (R2年度)	52,857	頭	111,984	頭 (R4年度)							123,674	頭	農林水産部 畜産課	479.肉用牛群改良基地育成事業 481.特定家畜伝染病発生防止対策(離島) 513.自給飼料の生産利用・拡大 514.畜産施設の整備 515.畜産担い手育成総合整備事業(離島)		
【基本施策】2一(3)	離島を支え	える産業振り	異体制の構	築と域内経	経済循環の値	足進					-	-						
120 離島フェア売上総額	-	_	3,111	万円 (R3年度)	1,097	万円 (R4年度)	5,040.7	万円 (R4年度)	▲ 2,014.0	未達成	後退	×	8,900	万円	企画部 地域·離島	果 519.離島フェア開催支援事業	【要因】 新型コロナの感染状況をふまえ、県内スーパー等での店頭販売とオンライン販売にて開催したが、開催時期が例年と異なったことや実施店舗数の減少等により、売上額が減少した。 【対策】 令和5年度の離島フェアは、沖縄セルラーパーク那覇での通常開催とする。	
121 製造品移出額(推計)	69,202	百万円 (R元年度)	-	-	60,602	百万円 (R2年度)							78,667	百万円	商工労働部 ものづくり排	表 517.稼ぐ県産品支援事業 524.沖縄ま一さむん消費拡大支援事業		
122 製造品輸出額(推計)	19,890	百万円 (R元年度)	-	-	17,418	百万円 (R2年度)							22,611	百万円	商工労働部 ものづくり扱 興課	525.商談から販売に向けた企業支援 526.海外販路開拓・拡大に向けた商品 開発や海外見本市等への出展支援 527.泡盛等の製品開発支援と酒造所の マーケティング強化		
123 県内で流通される製造品出荷額	325,705	百万円 (R元年度)	-	-	285,228	百万円 (R2年度)							370,253	百万円	商工労働部 ものづくり扱	531.県内企業への優先発注及び県産 品優先使用 532.産業まつりの開催 533.泡盛のブランディングとプロモーショ ンの実施		

															担当部課			
No. 指標名	沖縄県(参	₹の現状 考値)	離島(基	の現状 準値)	実終	漬値	計画	斯値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和 目	6年度 標値	部局名 課名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
【基本施策】2一(4)	独自の資	源・環境・ラ	イフスタイ	ル等を生かし	した新産業	の創出					-	-						
124 工芸品生産額(離島)	25.0	億円 (R2年度)	7.2	億円 (R2年度)	6.7	億円 (R4年度)	7.7	億円 (R4年度)	▲ 0.5	未達成	後退	×	8.7	億円	商工労働部 ものづくり振	541.技術講習の実施 542.担い手の育成	【要因】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需用 が減少したことや、高齢化や離職による生産者の減 少が要因であると考えられる。 【対策】 後継者育成事業による工芸従事者の確保や、販路 拡大や経営力の向上等についての支援が必要であ る。	
125 従事者一人あたりの工芸品生産額(離 島)	1.6	百万円 (R2年度)	1.6	百万円 (R2年度)	1.5	百万円 (R4年度)	1.7	百万円 (R4年度)	▲ 0.1	未達成	後退	×	1.8	百万円	商工労働部 ものづくり振興課	541.技術講習の実施 547.県工芸士の認定 548.製造技術の向上 549.作り手と消費者との交流促進	【要因】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需用 が減少したことや、高齢化や離職による生産者の減 少が要因であると考えられる。 【対策】 後継者育成事業による工芸従事者の確保や、販路 拡大や経営力の向上等についての支援が必要であ る。	
126 通販支援員の活動により連携した島外企業のプラットフォーム数	-	-	1	件 (R4年度)	1	件 (R4年度)	1.7	件 (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	3	件	企画部 地域・離島調	400.436.553.離島ブランディング(島あっぱちい・島ま一る推進)事業 552.通販支援人材の育成		
127 起業家育成数	-	ー (※R4年度 から計測)	-	_	61	人 (R4年度)							20	人/年間	商工労働部産業政策課	556.スタートアップ関連イベントの開催 557.スタートアップに対する事業化支援		
128 開業率	8.8	% (R3年度)	-	-	7.1	% (R4年度)							9.3	%	商工労働部 中小企業支 援課	558.創業者支援資金貸付 559.機械類貸与原資貸付事業		
129 離島空港の区域内における企業使用 面積(累計)	-	-	3.7	ha (R3年度)	3.7	ha (R4年度)	4.7	ha (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	9.3	ha	土木建築部空港課	560.離島空港を活用した航空・宇宙関連産業の展開 561.高付加価値の航空・宇宙関連産業 に関連する離島空港の施設機能向上 整備	:	
130 海洋資源を活用した新事業に参入可能 性のある企業等の発掘数(累計)	-	- (※R4年度 から計測)	-	-	3	企業 (R4年度)							1	件	商工労働部産業政策課	564.海洋資源調査・開発支援拠点形成 促進に向けた取組		
海洋政策事業に係る関係団体数(事業 者、研究機関等)	34	団体 (R4年度)	-	-	34	団体 (R4年度)							36	団体	企画部 企画調整課	565.国の「海洋政策センター(仮称)」の 設置促進		
【基本施策】2一(5)	先進技術	の活用によ	る産業の流	5性化と次世	世代型地域 [·]	づくりの推済	進				_	-						
132 各種支援によりDXの取組が促進され た企業数(累計)	-	ー (※R4年度 から計測)	-	-	54	社 (R4年度)							100	社	商工労働部 ITイノベー ション推進課	567.先端ICTの実用化研究や新ビジネスモデル実証試験場の形成に向けた取り組みの支援 569.ICTビジネス高度化支援 571.情報通信産業振興地域・特別地区制度 572.国内外の企業や技術者等によるビジネス交流機会の創出 574.経営者向けDXセミナーの開催 575.ハンズオン支援等によるデジタルトランスフォーメーション(DX)促進		
133 再生可能エネルギー電源比率【再掲】	8.2	% (R2年度)	-	-	11.1	% (R3年度)					再掲		12.1	%	商工労働部 産業政策課	117.補助事業による再エネ設備等の導 入支援		No.29の再掲
134 情報システムの標準化・共通化に対応した市町村の基幹業務の数	-	ー (※R4年度 から計測)	-	ー (※R4年度 から計測)	-	業務 (R4年度)							43	業務	企画部 デジタル社 会推進課	589.情報システムの標準化・共通化		

																担当	当部課
N	指標名	沖縄県 (参え		離島(の現状 隼値)	実糸	責値	計區		改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和6 目標	6年度 票値	部局名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応) 課名
	【基本施策】2一(6)	地域社会	を支える雇用	用創出及び	関連施策 <i>0</i>)推進と多	様な産業人	材の育成・	確保			-	-				
13	5 就業率(年平均値)	60.0	% (R3年)	_		60.7	% (R4年)							60.1	%	商工労働部	590.沖縄型総合就業支援拠点の運営 591.地域巡回によるマッチング機会の 提供 254.592.就職困難者等への就労支援 593.各種雇用支援制度の周知及び有 効活用の促進 594.雇用環境の改善等に積極的に取り 組む県内企業等への支援 595.再就職を希望する高齢者への支 援、企業の高齢者雇用への意識啓発 596.シルバー人材センター等への支援 597.職場適応訓練 598.障害者雇用に取り組む企業開拓・支援や障害のある方の就労定着支援 602.沖縄県キャリアセンターにおける総合的支援 603.若年者向けジョブトレーニングの実施 604.若年者の職場定着支援(企業への 個別支援) 605.若年者の職場定着支援(セミナー の開催)
13	8 県内企業の非正規雇用労働者への労 働条件通知書の交付率	83.5	% (R3年度)	78.9	% (R3年度)	50.0	% (R4年度)	81.0	% (R4年度)	▲ 28.9	未達成	後退	×	85.2	%	商工労働部	労働政策課 599.非正規労働者処遇改善事業(セミナー) 【要因】10人未満の事業所の労働条件通知書交付率が37.1%と低くなっているため。 【対策】小規模事業所への周知啓発を強化していく。
13	7 7 計)	100	社 (R3年度)	1	社 (R3年度)	0	社 (R4年度)	1.3	社 (R4年度)	▲ 1.0	未達成	後退	×	2	社	商工労働部	(要因】人手不足や新型コロナウィルス感染症対策拡大の影響により、企業がワーク・ライフ・バランスの取り組みを行うことが難しい状況にあり、沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証申請を見合わせたと考えられるため 【対策】 ワーク・ライフ・バランス認証を希望する企業への専門家派遣にやセミナー開催等による支援を行う。
	離島地域におけるテレワーク・ワーケーシ	/ョン推進施設	めの利用者数及	なびテレワーク	人材等の登録	者数【再掲】										企画部	地域·離島課
13	離島地域におけるテレワーク・ワーケーション推進施設の利用者数【再掲】	-	1	1,951	人 (R3年度)	7039	人 (R4年度)	2,053.7	人 (R4年度)	5,088.0	達成	再掲		2,259	人	企画部	地域・離島課 397.407.608.沖縄しまっちんぐ推進事業 406.607.コワーキングスペースの設置 No.92の再掲
	離島地域におけるテレワーク人材等の 登録者数 【再掲】	-		621	人 (累計) (R3年度)	669	人 (累計) (R4年度)	714.0	人 (累計) (R4年度)	48.0	51.6%	再掲		900	人 (累計)	企画部	地域・離島課 405.606.離島ICT利活用人材等高度化 事業 No.92の再掲
13	9 移住相談件数	193	件 (R2年度)	27	件 (R2年度)	30	件 (R4年度)	30.3	件 (R4年度)	3.0	90.0%	再掲		37	件	企画部	地域・離島課 82.394.612.沖縄県移住受入協議会の開催 382.392.610.地域おこし協力隊等への研修支援 391.609.移住応援サイトの運用 393.611.中間支援組織の育成支援
14	0 地域おこし協力隊の定住率	56.3	% (R3年度)	60.3	% (R3年度)	60.3	% (R4年度)	60.8	% (R4年度)	0.0	0.0%	横ばい	Δ	61.8	%	企画部	382.392.610.地域おこし協力隊等への研 地域・離島課 修支援 389.地域づくりに関する情報発信
14	1 宿泊事業者(正規雇用者)一人当たり の平均年収	3,129,946	円 (R3年度)	-	-	3,555,318	円 (R4年度)							3,533,709	Ħ	文化観光スポーツ部	619.高度な観光人材の育成 観光振興課 620.観光人材確保に向けた支援 621.沖縄観光受入対策事業

																担当	当部課 T		
No.	指標名		:の現状 考値)		の現状準値)	実紀	責値	計	画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分		6年度 漂値	部局名	課名	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載) 備考
142	所規就農者・新規漁業就業者数(離島) 累計)	292	Д	129	人 (R2年度)	112	人 (R4年度)	124	人 (R4年度)	▲ 17.0	90.3%	前進	0	372	Д	農林水産部	営農支援課	625.新農業人材育成確保対策事業	
143	f規漁業就業者数(離島)(累計)	121	人 (R2年度)	58	人 (R2年度)	110	人 (R4年度)	123.7	人 (R4年度)	52.0	79.2%	前進	0	255	人 ※一部離島の 市町村を除く	農林水産部	水産課	623.新規漁業就業者の確保・育成支援	
144 :	デジタル活用人材の育成数(累計)	_	- (※R4年度 から計測)	-	_	576	人 (R4年度)							1,300	Д	商工労働部		618.634.デジタル人材UIJターンの支援 629.全産業におけるDX推進担当の育成 630.従業員のデジタルリテラシー向上に向けた支援 631.IT企業と情報技術系学科との相互 交流の促進 632.高度情報通信産業人材育成 633.産学官連携によるデータサイエン ティスト等の育成 635.海外IT企業との連携促進に向けた 人材交流支援	
145]	「関連国家資格取得者数(累計)	788	人 (R3年度)	-	-	1,542	人 (R4年度)							2,750	,	商工労働部	ITイノベー ション推進課	618.634.デジタル人材UIJターンの支援 629.全産業におけるDX推進担当の育成 630.従業員のデジタルリテラシー向上に向けた支援 631.IT企業と情報技術系学科との相互 交流の促進 632.高度情報通信産業人材育成 633.産学官連携によるデータサイエン ティスト等の育成 635.海外IT企業との連携促進に向けた 人材交流支援	
146	设造業従事者数	25,359	人 (R2年度)	2,357	人 (R2年度)	2,055	人 (R4年度)	2,374.7	人 (R4年度)	▲ 302.0	未達成	後退	×	2,410	,	商工労働部	ものづくり振興課	636.工業技術人材の育成 637.ものづくり産業の魅力発信	【要因】 離島地域に限らず、外部要因として、労働人口の減少、内部要因として製造業における賃金の低さが考えられる。 【対策】 引き続き、生産性の向上、DXの推進による自動化などを取り入れ、製造業の賃金上昇を図り産業人材の育成・確保を図る必要がある。
	【基本施策】2一(7)	国内外との)多元的交流	流を通じた	新たな離島	地域の振り	Ų					-	-						
147	本島及び離島から離島への派遣やオン 6インで交流する児童数(累計) 再掲】	_	_	619	人 (R3年度)	2176	人 (R4年度)	2,619.0	人 (R4年度)	1,557.0	77.9%	再掲		6,619	Α	企画部	地域・離島調	398.439.離島観光活性化促進事業(主要離島観光協会によるプロモーションの実施) 399.438.離島観光活性化促進事業(各種プロモーションの実施) 400.436.553.離島ブランディング(島あっちい・島まーる推進)事業 449.639.沖縄離島体験・デジタル交流促進事業	No.91の再掲
148	県が支援した文化交流イベントの参加 首数	5,878	人 (R3年度)	-	-	26,005	人 (R4年度)							73,500	Д	文化観光スポーツ部	文化振興課	343.641.文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組 642.琉球歴史文化の日周知啓発推進 事業(歴史・文化ワークショップ) 643.伝統芸能の県外公演 644.伝統芸能の海外公演	
149 ;	·好留学派遣者数·交流者数(累計)	2,556	人 (R2年度)	-	-	3,000	人 (R4年度)							3,196	Д	教育庁	県立学校教 育課	646.国際性に富む人材育成留学事業 647.グローバルリーダー育成海外短期 研修事業 648.アジア高校生オンライン国際交流 事業	
150	E留外国人数	19,839	人 (R2年)	1,473	人 (R2年)	1519	人 (R4年)	1,517.3	人 (R4年)	46.0	達成	前進(達成)	©	1,606	٨	文化観光スポーツ部	交流推進課		

No	. 指標名	沖縄県 (参 ⁴	の現状 ទ 値)	離島 <i>0</i> (基 ²	の現状 隼値)	実紀	績値	計	画値	改善幅 (実績値−基準値)	達成率 (%)	達成 状況	達成 区分	令和6 目标	6年度 票値	担当部局名	部課	関連する主な取組 (様式1の施策総括表に対応)	達成状況が後退した要因と対策 (【要因】と【対策】に分けて記載)	備考
15	市町村がJICA沖縄と共に行う技術協力	8	自治体	2	自治体	0	自治体 (R4年度)	2.0	自治体 (R4年度)	▲ 2.0	未達成	後退	×	2	自治体	文化観光スポーツ部	交流推進課		【要因】 JICA沖縄の取組内容が離島市町村に十分浸透していなかったことが要因の一つと考えられる。 【対策】 JICA沖縄の技術協力の取組をより広く離島市町村にも周知していく必要がある。	